

令和5年度の二酸化炭素排出量の公表資料について

令和5年度の温室効果ガス排出量(CO₂)を次のとおり公表します。

本計画は令和12年度までに基準年度比で15%の温室効果ガス(CO₂)削減を目標としており、基準年度排出量(970.7t CO₂)に対して目標排出量は(825.1t CO₂)です。

令和5年度の神崎町役場全体の温室効果ガス(CO₂)排出量は859.1[t-CO₂]で基準年度比較▲111.6[t-CO₂]。令和4年度比較▲92.9[t-CO₂]であった。

このことについて以下の通り分析する。

表1 電気の使用

年度	電気の使用量[kWh]	温室効果ガス(CO ₂)排出量[t-CO ₂]
令和元年度	1,508,211	705.8
令和5年度	1,271,425	581.0
増減	▲236,786	▲124.8

表1より、電気の使用量の減少が確認できる。これはLED化、庁舎等における昼の消灯、水曜日の残業削減の効果が出ていると考察できる。

表2 燃料の燃焼(公用車を除く)

年度	燃料の燃焼量[L]	温室効果ガス(CO ₂)排出量[t-CO ₂]
令和元年度	87,147.3	218.9
令和5年度	87,600.0	218.9
増減	452.7	0.0

表2より、燃料の使用量の増加が確認できる。これは温暖化により冷房の使用時間が増加したためだと考察できる。今後クールスポットなどの取組が増えれば更に増加すると推測できる。

表3 公用車の使用による燃料の燃焼

年度	燃料の燃焼量[L]	温室効果ガス(CO ₂)排出量[t-CO ₂]
令和元年度	18,530	46.0
令和5年度	19,356	48.4
増減	826	2.4

表3より、公用車の使用による燃料使用量の増加が確認できる。これは各種団体・職員の参加する研修や会議が遠隔ではなく集合に戻り、公用車の使用頻度が増加したためだと考察できる。

以上より、今回CO₂排出量が削減された原因として「電気の使用の減少」によ

るものが大きい事が確認できる。今後も庁舎や舞台照明の LED 化を推進していくことが重要である。

令和 5 年度の二酸化炭素排出量は基準年度よりも減少したため今後も継続して、計画に則した取組を実施できるよう推進し、目標排出量 (825.1[t-CO₂]) に向けて二酸化炭素排出量の削減に取り組んでまいります。